

第 66 期第 3 回男女共同参画推進委員会 議事録

日 時：2011 年 5 月 30 日（月）14：00～16：00

場 所：本会会議室

出席者：笹尾真実子，江尻晶，興治文子，加賀山朋子，嘉規香織，門野良典，高山一，
鳥井寿夫，二宮正夫，湯浅富久子

欠席者：栗本猛，村上泉

事務局：富樫衛

I. 報告事項

0. 前回議事録確認（資料 1）

1. 第 9 期男女共同参画学協会連絡会運営委員会報告（江尻）

3 月末に予定されていた会議は震災の影響で中止となり，4 月から 5 月にかけてメールで議論を行っている。第 2 回大規模アンケートの利用申請を行ったが，申請書式の選択に不備があり対応をしている。

次のアンケートは 10 月で期が入れ替わるため，10 月以降にアンケートを実施し，解析結果を発表する予定であったが，まだ十分な準備が整っていない状況である。

2. 国際会議 Women In Physics (WIP)2011 報告（嘉規，高山，興治）（資料 2-1，2-2）

4 月 5 日から 8 日の日程で南アフリカで開催された WIP の報告があった。59 カ国からの参加があり，参加者数 223 名（うち男性 20 名）であった。JPS からは嘉規委員，高山委員，興治委員，田島節子氏(大阪大学)が出席した。応用物理学会からは渡辺美代子氏(東芝)が出席予定であったが，都合で出席できなかった。国際会議では，APS の Theodore W. Hodapp 氏(APS の Director Education & Diversity/Hamline Univ.教授)から JPS との women in physics に関わる連携の申し出があった。また，AAPPS(Association of Asia Pacific Physical Societies)の WIP を 2013 年に日本で開催することが確認された。

この国際会議を受けて，それぞれの国でどのようなアクションを行ったかについてのレポートを，9 月までに IUPAP のワーキンググループに提出することになっている。この委員会からのアクションとしては，嘉規委員が学会誌に，高山委員が「大学の物理教育」誌に，興治委員が日本物理教育学会「物理教育」誌に報告記事を掲載する予定である。上記の APS との連携や EPS との連携の可能性については，笹尾委員長が対応することとなった。その他，日本としての対応は応用物理学会と共同で報告するため，6 月に会合をもって協議することとなった。JPS からは田島氏，笹尾委員長，嘉規委員，高山委員，興治委員が出席予定である。

II. 審議事項

1. 学会中止に伴うシンポジウム中止の今後について（笹尾）

3月11日の震災に伴い、春の第66回年次大会が中止になったため、委員会で企画していたシンポジウムを行うことができなかった。代替措置として講演会を企画するなどの案が出され、時期や費用についての議論の結果、秋季大会(物性関係、富山大学)のインフォーマルミーティングで規模を縮小して開催することとなった。

議論の中で、男女共同参画学協会連絡会のシンポジウムが10月31日(月)に筑波大学で行われることが江尻委員から報告された。

2. その他

2-1. 女子中高生のための関西科学塾2012（笹尾）（資料3）

田島氏から標記事業の共催申請があり、了承された。主催は大阪大学であり、関西地区の大学と連携し、女子中高生に5回(9月～3月)にわたって科学の魅力を伝えるものである。

2-2. 震災/原子力発電事故に対してすべきアクションについて（笹尾）

委員会としてのアクションは特になし。

2-3. 女子中高生夏の学校（湯浅，興治）

国立女性教育会館(埼玉県)が主催している事業であり、例年は8月に合宿形式で開催している。今年は電力不足が懸念されるため、今年は開催を見送ることとなった。その後、運営に携わっている大学院生などから、規模を縮小し日帰りで開催する可能性についての提案がなされ、1日の中高生対象の催しを開催すること、ならびに国立女性教育会館主催事業フォーラムの中でワークショップを2件程度開催することとなった。

2-4. ホームページについて

担当委員(栗本，村上)と連絡を取りながら修正することとなった。学会の本ページからリンクを張る事を依頼することとなった。

2-5. 委員の任期について

委員の任期が確認された。終了委員については、交替する新委員を推薦してほしい旨委員長より依頼があった。

次回の会議日程

8月30日で調整することとなった。女子中高生夏の学校が開催される場合は、開催時期前(7月)に会議を開く可能性がある。

文責：興治